

第3学年〇組 英語科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

活動場所 3年〇組教室

授業者 〇〇 〇〇
ALT

1 単元名 NEW HORIZON English Course 3 Unit 6 Beyond Borders

2 単元について

本単元では、小学生に英語を学ぶ意義や重要性を伝えるために「国際協力」、「相互協力」、「相互援助」に関する事実や自分の考え、気持ちなどを話して伝えることができることを目指している。

題材としては、アフガニスタンに日本のランドセルを送るという実際に行われている取り組みを紹介している場面である。世界には、その日を生きることで精いっぱい学校に通うこともできずに、読み書きすらできない子供たちが多く存在していることを伝え、これらの子供たちを同じ地球に住む地球市民として、国境を越えて支援することの意義について考えさせる。

また、本単元は中学校の教科書で学習する最後の単元となるため、英語を5年間学んできたことを振り返らせ、「英語を学ぶ意義、重要性」について個々の生徒に考えさせるとともに、仮定法を用いて現実とは異なる願いや希望を表現することができるようにしたい。さらに、小学生に英語を学ぶ意義や必要性を発信することを意識させ、聞いたり読んだりしたことについて、なぜそのように考えたのか、感じたのか、簡単な理由や根拠を伝えることができる力を養う。

3 生徒の実態について〈省略〉

4 研究との関連

- (1) 研究主題「英語で自分の思いや考えを主体的に表現することができる児童生徒の育成」
- (2) 実現に向けての方策

- ① 自分の考えや思いを伝え合う活動（言語活動）を行う時間を多くする。

本単元では、Small Talk や文法事項導入後のペア活動において、自分の考えや思いを聞き手に伝わるように話すことを意識して活動を行っている。また、各セクションで国際協力や海外支援について学んだことを踏まえて、感じたことや自分なら何ができるか等、グループで意見を伝え合う活動を行っている。

- ② 単元計画の作成をし、毎時間の指導計画の充実をはかる。
(必要感のあるねらい・まとめ・振り返り)

本単元では、ALT の友人の海外での支援活動の紹介、そして Unit4 での日本における外国人支援の取り組みを振り返ることで、単元目標を身近なものと捉えることを意識している。また、小中合わせて連続して5年間の英語学習の総仕上げとして、英語を学び始めた小学生に英語を学ぶ意義や重要性を伝えることで必要感のあるねらいを設定している。

- ③ 単元目標に向けての各自の学習を補うような学習者用デジタル教科書の活用法を研究し、実施する。

教科書の内容をより詳しく捉えるため、生徒が自分の力に合わせて、聞き取る活動や読む活動において学習者用デジタル教科書を活用している。生徒が自宅学習する際にも、個々の状況や力に応じて学習者用デジタル教科書を活用し、既習事項の復習に役立てている。

- ④ 小中の接続を踏まえた指導方法の改善・充実（カリキュラムの作成）をはかる。

小中における Small Talk の実施方法や振り返りの方法を統一するよう意識している。また、児童生徒の振り返りにおいて、振り返りカードの様式を近いものとし、観点も揃えている。

5 単元の目標

英語を教科として学び始めた小学生に、英語を学ぶ意義・重要性、英語を使って世界の人々とどのように協力していくことができるかを、国際協力の例を挙げてスライドを使い、自分の願いや考えを詳しく話すこと（説明する）ことができる。

- ・仮定法を用いた文の特徴や用法を理解し、現実とは異なる願いや架空の話などを話す技能を身に付けている。〈知識及び技能〉
- ・小学生に英語を学ぶ意義や英語の必要性を伝えるために、国際協力の例を挙げてスライドを使い、世界の現状、自分の考え、願い等を話している。〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・小学生に英語を学ぶ意義や英語の必要性を伝えるために、国際協力の例を挙げてスライドを使い、世界の現状、自分の考え、願い等を話そうとしている。＜学びに向かう力、人間性等＞

6 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔発表〕 (発)	〈知識〉 ①仮定法を用いた文の特徴や決まりを理解している。 〈技能〉 ②小学生に英語を学ぶ意義や重要性を、仮定法を用いて自分の気持ちや考えをまとまりのある内容で話す技能を身に付けている。	小学生に英語を学ぶ意義や英語の重要性を伝えるために、国際協力の例を挙げてスライドを使い、世界の現状、自分の考え、願い等をまとまりのある内容で話している。	小学生に英語を学ぶ意義や英語の重要性を伝えるために、国際協力の例を挙げてスライドを使い、世界の現状、自分の考え、願い等をまとまりのある内容で話そうとしている。

7 授業計画（9時間扱い）

時	ねらい（◆）・活動（○）	評価			◎評価規準<評価方法>
		知・技	思・判・表	態	
1	◆単元の目標を理解する。 ◆海斗が目にした国際協力キャンペーンの概要を捉える。 ○本単元の題材に関するやり取りを行う。 ○仮定法が用いられた教科書や学習者用デジタル教科書を活用し、聞き取る活動を通して、国際協力キャンペーンの概要を捉える。				終末の言語活動をイメージさせて、単元の見通しを持たせるとともに、意欲を持たせる。
2	◆ペアからの誘いに、現実とは異なる願いを伝えて断る。 ○仮定法の用法の特徴や決まりについて、言語活動を通して理解する。 ○ペアからの提案に対して、自分の願いを伝える。				
3	◆海斗とメグが話す他国への支援の取り組みについての内容を捉える。 ○教師とのやり取りを通して、身近な国際協力について考える。 ○仮定法が用いられた教科書や学習者用デジタル教科書を活用し、聞き取る活動を通して、他国支援の概要を捉える。				
4	◆好きな場所にいられるとしたら、どこで何をしたいかをペアと伝え合う。 ○仮定法過去の用法の特徴や決まりについて、言語活動を通して理解する。 ○ペアと架空の話でのやり取りを行う。				
5	◆海斗が調べたランドセル支援の概要を捉える。 ○教師とのやり取りを通して、ランドセル支援がもたらしたものを理解する。 ○仮定法が用いられた教科書や学習者用デジタル教科書を活用し、読む活動を通して、国際協力の例を読み、支援の詳しい内容について捉える。				本単元において、第1～8時は記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して、生徒の状況を確実に把握して指導に活かす見取りは毎時間行う。現実とは異なる仮定の話伝える表現、主語を詳しく説明する表現が身に付いているかを見取り、生徒の学習状況に応じて指導の改善を図る。
6	◆海斗が調べた日本の貿易に関する説明文の概要を捉える。 ○教師とのやり取りを通して、国際社会における相互支援の重要性を理解する。 ○仮定法が用いられた教科書や学習者用デジタル教科書を活用し、読む活動を通して、日本が輸入している物資に関する説明文の概要を捉える。				

7	◆秘密道具を持っていたら何をしたいかをペアで伝え合う。				
	○仮定法過去の用法の特徴や決まりについて、言語活動を通して理解する。 ○ペアと架空の話でのやり取りを行う。				
8	◆小学生に英語を学ぶ意義や英語の重要性を伝えるために、国際協力の例を挙げてスライドを作成し、話す順番や内容を整理して伝える。				
	○グループ内で協議し、小学生に説明する国際理解の内容を決定する。 ○話す順番を考えることで、聞き手により興味を持ってもらえることを捉える。 ○国際理解についての説明と自分の気持ちを整理したり、分かりやすい構成を考えたりしてまとまりのある内容で話す。				活動の中で、「聞き手を意識した様子が見られるか」「振り返りに書かれてきたことが、言語活動において実際に態度となって表れたか」という視点で見取る。
9 本 時	◆小学生に英語を学ぶ意義や英語の重要性を伝えるために、国際協力の例を挙げて発表するなど、聞き手に配慮して相手に伝える。				
	○前時で撮影した動画を確認し、小学生に伝わりやすい発表内容になっているかコメントし合う。 ○相手をひきつける話し方を捉える。 ○練習を動画に撮り、より良い発表になるように、グループで確認したり、コメントし合ったりする。	発			◎仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の特徴や決まりを理解している。 ◎小学生に英語を学ぶ意義や重要性を仮定法や関係代名詞などを用いて、自分の気持ちや考えをまとまりのある内容で話す技能を身に付けている。
後 日	・パフォーマンステスト		発	発	◎小学生に英語を学ぶ意義や英語の重要性を伝えるために、海外協力の例を挙げてスライドを使い、世界の現状、自分の考え、願い等をまとまりのある内容で話している。 ◎小学生に英語を学ぶ意義や英語の重要性を伝えるために、海外協力の例を挙げてスライドを使い、世界の現状、自分の考え、願い等をまとまりのある内容で話そうとしている。

8 本時の学習指導（9/9 時間）

- (1) 目標
- ・小学生に英語を学ぶ意義や重要性をわかりやすく伝える。
 - ・国際協力や海外支援の例を挙げて、自分の考えや願いをまとまりのある内容で話す。

(2) 展開

時間	学習活動	学習内容	・指導上の留意点 ◎評価＜方法＞
導入 (6)	・ Greeting ・ Warm-up (Small Talk)	Weather/date/ temperature	・ 中間指導を通して、伝えたいこと、表現方法を全体で確認する。
展開 (7)	Checking Group's presentation video by themselves		・ 前時に撮影した動画で発表の仕方、内容を振り返り、小学生に英語の意義や重要性、国際協力の説明として伝わりやすい表現になっているか確認する。
(10)	Remaking their slides and practicing for the presentation	Remaking slides better and practicing for the presentation	・ slow learners をサポートする
(10)	Having the pre-presentation to other groups	Sharing ideas, good points and bad points	

(5)	Receiving some advices from teachers	Reconfirming important points of the presentation to elementary school students	・ 中間指導を通して、小学生にわかりやすい発表になっているかポイントを確認する。
(7)	Taking videos of their presentation by themselves	Rechecking their videos	・ 「小学生に伝わりやすいか」を視点に、他のグループからのアドバイスや同グループメンバーの意見をもとに、更に発表内容を修正していく。
まとめ (5)	・ Self-evaluation ・ Greeting	Evaluate themselves	・ 目標に対する到達度を確認する。

評価基準

「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて、以下の三つの条件をすべて満たしていれば「a」、三つの条件のうち二つを満たしていれば「b」、「b」を満たしていないものは「c」とする。

条件1：国際協力の例を詳しく説明している。 条件2：なぜその国際協力を選んだのか理由を述べている。 条件3：英語を学ぶことについての自分の考えや世界の現状に対する自分の願いを述べている。			
話すこと(発表)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい文法で話している。	小学生に海外の現状や国際協力の例を挙げながら三つの条件を満たして説明している。	小学生に海外の現状や国際協力の例を挙げながら三つの条件を満たして説明しようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話している。	三つの条件のうち二つを満たして説明している。	三つの条件のうち二つを満たして説明しようとしている。話し手に伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。